

News Release



志賀原子力発電所1号機 原子炉冷却材再循環系 配管溶接部の点検終了について

平成25年12月24日
北陸電力株式会社

定期検査中の志賀原子力発電所1号機で行っていた、原子炉冷却材再循環系の配管溶接部の点検が、12月20日に終了しましたので、お知らせします。

志賀原子力発電所1号機は、現在実施している第13回定期検査の停止期間を利用し、原子炉冷却材再循環系配管の高周波誘導加熱による配管応力改善工事^{※1}を追加で実施していたところ、施工前の超音波探傷検査^{※2}で配管溶接部にひびを確認しました。

(8月23日、10月31日お知らせ済み)

引き続き、残りの箇所の点検を実施していましたが、12月20日に超音波探傷検査が終了し、合計2箇所にひび(最大長さ178mm)を確認しました。

(10月31日にお知らせした箇所のみ)

ひびが確認された配管溶接部については、配管の取替えも含め、対策を検討中です。

本事象は、石川県、志賀町と締結している連絡基準に係る覚書に従い、当該自治体へ連絡しています。

以上

添付資料：原子炉冷却材再循環系配管溶接部のひびの状況

※1 高周波誘導加熱による配管応力改善(LHSI)工事

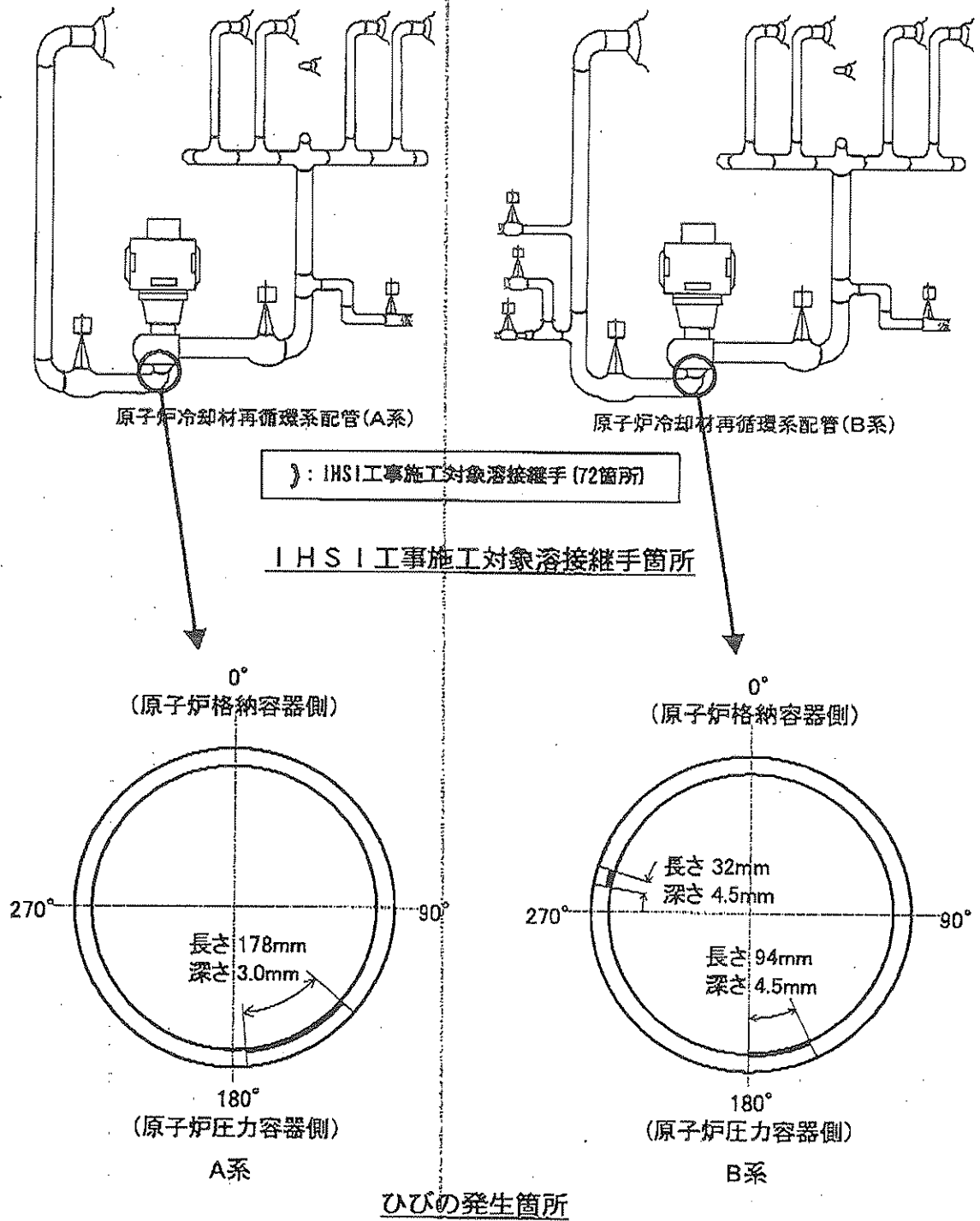
原子炉冷却材再循環系配管溶接継手のひび発生の原因である残留応力の改善を図るため、予防保全として、高周波誘導加熱により配管応力改善を図るもの。

※2 超音波探傷検査(UT)

非破壊検査の一種で、検査対象物に超音波を入射したときの超音波の反射波形により、対象物の内部を調査する検査。

添付資料

原子炉冷却材再循環系配管溶接部のひびの状況



以上